|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | ２部 ４章　産業革命による欧米とアジアの変化 | | |
|  | ７　黒船の来航と日本の対応 | 教科書  p.55～56 | 年　　　月　　　日 |

**年　　　組　　　番／名前**

部分サンプル　※本資料はサンプルのため、内容が変更される可能性があります。あらかじめご了承ください。

□学習課題

Q：日本は、欧米諸国の進出に対してどのように対応したのだろうか。

＜学習のポイント＞

（1）開国の要求に対して日本側が取った対応を、行動の主体（幕府と各藩）に着目して理解しよう。

（2）日本の対応のうち後世に最も影響を与えたものは何か、根拠に基づいて自分の考えを表現しよう。

●海外情報への対応

欧米の日本への進出情報　→　幕府や藩による対応

⑴江戸幕府の対応…オランダ風説書、帰国した漂流民など

**薪水給与令**

・1842年　〔①　　　　　　　　　〕の発布…紛争回避＋海防強化

　　　　　　アヘン戦争での清の敗北の影響

⑵各藩の対応…蘭学者のネットワーク

　　水戸藩…〔②　　　　　　　　〕思想の発生

**尊王攘夷**

　　佐賀・長州・薩摩藩…ヨーロッパの思想や技術導入

●日本の開国

・アメリカの日本進出…対清貿易の中継点、捕鯨の補給基地

・1853年　〔③　　　　　　　〕が浦賀に来航…開国を勧告

**ペリー**

→　幕府が諸大名や幕臣に意見を求め朝廷へ報告…朝廷や有力大名の発言力強まる

・1854年　〔④　　　　　　　　　　〕の締結…露・英とも同様の条約を締結

**日米和親条約**

　　外国船の補給、漂流民保護など

→　アメリカがさらに自由貿易要請、開国・貿易の実施へ

・1858年　〔⑤　　　　　　　　　　　　〕の締結…欧州諸国とも同様の条約

**日米修好通商条約**

　　不平等項目…関税率の協定、領事裁判権の承認

部分サンプル

●開国の影響と近代化改革

・世界市場への参加　→　国内経済の混乱

生糸・蚕卵紙の輸出…国内での原材料不足

綿織物や綿糸の輸入…綿関係産業に打撃

**近代化改革**

・〔⑥　　　　　　　　　〕の実施…軍事力強化と人材登用で欧米に対抗

幕府：蕃書調所や海軍伝習所の設置

各藩・幕府：海外へ使節や留学生派遣

▼確認

Q：アメリカが日本に開国を求めた理由を、本文から書き出そう。

**教科書p.55　13～15行目「南京条約で開港した清との貿易における中継地点と、日本近海における捕鯨のための補給地点を確保するため」**

▼説明

Q：ヨーロッパへの対応について、日本と教科書p.53〜54の清で、異なっている点とその理由を説明しよう。

**例：清は抵抗して戦争を行ったのに対し、日本は開国して欧米を受容した。この違いは、オランダからの情報により、欧米諸国の軍事力などに対する認識に差があったことによる。**

□学習課題

Q：日本は、欧米諸国の進出に対してどのように対応したのだろうか。

**例：江戸幕府は、それまで行っていなかった諸大名や幕臣への意見の聴取及び朝廷への報告をしたうえで、開国という決断をした。**